

家中川クリーンプロジェクトが実施されました！

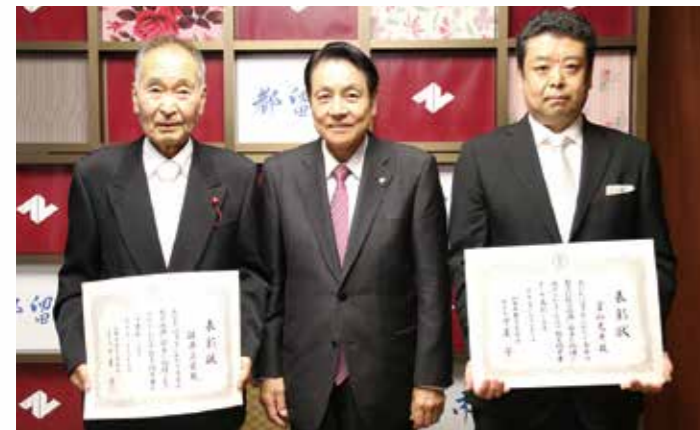
11月13日(日)、都留市の環境問題に取り組む『都留市環境保全市民会議』の主催により、元気くん3号から高尾神社入口までの家中川の清掃活動が実施されました。

各地域協働のまちづくり推進会の皆さんや谷一少年野球クラブをはじめ、子どもから大人までの50名以上が参加し、ゴミ拾いや草刈りを行いました。大勢の方のご参加により、当初予定していた2時間の作業時間を大幅に短縮し、1時間で作業を終了することができました。

今回の家中川クリーンプロジェクトでは約300kgのゴミを回収することができ、高尾神社前の家中川は見違えるほどきれいになりました。



富山克彦さんと佐藤正宏さんが山梨県教育功労者表彰を受賞されました！



■右は富山元教育長の長男 哲夫さん、左は佐藤正宏さん

富山克彦さんと佐藤正宏さんが、平成28年度山梨県教育功労者表彰を受賞されました。

富山さんは元教育長として都留文科大学の教員志望学生を『学生アシスタントティーチャー』として市内小中学校に配置し、大学と小中学校との共同した実践・研究を進め、児童生徒の学業向上に努められました。

佐藤さんは都留第一中学校長などを歴任され、朝の10分間読書を提唱し、読書教育を推進するとともに感性豊かな思いやる生徒の育成に尽力し、都留市校長会会長、教育協議会長を歴任し、学校教育の振興に努められました。

富山さん、佐藤さん本当におめでとうございました！

教育委員会と警察との相互連携に関する協定を締結しました！

10月18日(火)、都留市をはじめとする南都留地区9つの教育委員会と富士吉田・大月警察署、県警本部において、パートナーシップ制度に基づく相互連携協定を締結しました。

この協定は、児童・生徒の安全確保や非行防止、健全育成の推進を目的に、一般的な情報交換にとどまらず、具体的な情報や個々の問題行動に着目した情報を相互に連絡を取り合い、必要な場合は迅速に対策を講ずることとしています。

この協定を基本として、教育委員会では、児童・生徒が安心して楽しい学校生活を送れるよう、警察と学校との効果的な連携を進めていきます。



都留市の人口

H28.11.1現在
男 15,286人 (+56)
女 15,904人 (-1)
計 31,190人 (+55)
世帯数 12,985世帯(+83)
※()内数字は、前月比

12月の納税

固定資産税(第3期)
国民健康保険税(第6期)
介護保険料(第6期)
後期高齢者医療保険料(第6期)
12月は12月26日まで
に納付してください。

都留市民憲章

わたくしたち都留市民は
○健康で明るいまちにいたします。
○自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
○文化都市にふさわしい豊かなまちを築きます。
○たのしく働き、活気ある産業のまちに育てまします。
○たがいに信じ、協力し、平和なまちをつくりまします。



小林未希さんが1日消防長を務めました！



11月5日(土)に、今年のお姫さま役に選ばれた小林未希さんが1日消防長を務めました。

小林さんは、委嘱状を受け取った後、秋の火災予防運動にあわせて、宝保育所の園児や女性消防隊、都留市消防団、都留危険物安全協会の方と一緒に防火パレードに参加しました。

また午後には、おかしま都留食品館で、住宅用火災警報器の設置啓発活動としてリーフレットの配布などを行いました。

市内で活躍する「人」・「団体」、市内の「出来事」などにスポットをあて、ご紹介するコーナーです。



つる城下町テイスト再生プロジェクトが始動しました！



10月30日(日)に開催されたつる産業まつりに合わせて、市役所前の家中川の鉄柵に黒塀が設置されました。都留市は、秋元家の殿様が治めていた城下町の時代から、すでに300年以上が経過しています。城下町の面影をあまり見ることができなくなったこの町に、簡単な方法で『城下町のテイスト』をよみがえらせることができるのか、市役所若手職員が研究会を結成し、チャレンジしました。

当日は、市民や都留文科大学生にも作業に参加していただきました。また、現在この取組に対してのアンケートを市役所とミュージアム都留入口で実施していますので、皆さんのご意見をお聞かせください。

都留少年少女発明クラブが文化祭で作品の発表をしました！

11月1日(火)～3日(木・祝)まで、都留市文化祭において、都留少年少女発明クラブで作成した山車、水力発電機、リニアモーターカーの作品発表をしました。これは、発明協会の地域活性化アイデア制作活動の一環で、『都留市をPRするための作品を子ども達が決め』、リニアが山車を引き、水力発電機では実際に発電をしました。

3日(木・祝)には、発明クラブの塾生が指導したプラ板工作も行い、参加者は親子で楽しそうに制作に取り組んでいました。



■(右上)リニアと山車
(左上)水力発電
(左下)プラ板工作もおこない訪れた方に好評でした。